

# 度 会 町 特 定 事 業 主 行 動 計 画

度会町長

度会町議会議長

度会町監査委員

度会町選挙管理委員会

度会町農業委員会

度会町教育委員会

# 特 定 事 業 主 行 動 計 画

## A . 総論

### 1 . 目的

行動計画策定指針に掲げられた基本的視点を踏まえつつ、職員が「仕事と子育ての両立」及び「仕事の生活の調和」を図ることができるよう、職員のニーズに即した次世代育成支援対策を計画的かつ着実に推進するため、本行動計画を策定し、公表することとする。

### 2 . 計画期間

平成 2 2 年 4 月 1 日から平成 2 7 年 3 月 3 1 日までの 5 年間

### 3 . 計画の推進体制

行動計画の策定主体である各組織の関係部署で構成する「計画推進委員会」を設置する。

次世代育成支援対策に関する管理職や職員に対する研修・講習、情報提供等を実施する。

仕事と子育ての両立等についての相談・情報提供を行う窓口の設置及び当該相談・情報提供等を適切に実施するための担当者の配置を行う。

行動計画については、書面の交付や電子メールによる送付など適切な方法で職員に周知するとともに、啓発資料の作成・配布、研修・講習の実施に努める。

本計画の実施状況については、各年度ごとに、職員のニーズを踏まえて、その後の対策の実施や計画の見直し等を図る。また、前年度の取組状況は、ホームページ等への掲載により公表する。

## B . 具体的な内容

### 1 . 職員の勤務環境に関するもの

#### (1) 妊娠中及び出産後における配慮

母性保護及び母性健康管理の観点から設けられている特別休暇等の

制度について周知徹底を図る。

【実施時期：平成２２年度から】

出産費用の給付等の経済的支援措置について周知徹底を図る。

【実施時期：平成２２年度から】

妊娠中の職員の健康や安全に配慮し、業務分担の見直しを行う。

【実施時期：平成２２年度から】

妊娠中の職員に対しては、本人の希望に応じ、深夜勤務及び時間外勤務を原則として命じないこととする。

【実施時期：平成２２年度から】

(2) 子どもの出生時における父親の休暇の取得の促進

子どもの出生時における父親の特別休暇及び年次休暇並びに妻の産後期間中の育児休業等の取得促進について周知徹底を図る。

【実施時期：平成２２年度から】

(3) 育児休業等を取得しやすい環境の整備等

ア．育児休業等の周知

育児休業、育児短時間勤務又は部分休業に関する資料を通知・配布し、制度の周知を図るとともに、特に男性職員の育児休業等の取得促進について周知徹底を図る。

【実施時期：平成２２年度から】

休業中の経済支援や人事給与への影響等について情報提供を行う。

【実施時期：平成２２年度から】

イ．育児休業等を取得しやすい雰囲気醸成

育児休業の取得の申出があった場合、事例ごとに当該部署において業務分担の見直しを行う。

【実施時期：平成２２年度から】

幾時休業等の取得について、職場全体及び部署内の意識改革を進め、取得しやすい雰囲気を醸成する。

【実施時期：平成２２年度から】

ウ．育児休業を取得した職員の円滑な職場復帰の支援

育児休業中の職員に対して、通達等の送付等を行う。

【実施時期：平成２２年度から】

復職に際して、休業中の業務の動き等の説明を行うとともに、研修その他必要な支援を行う。

【実施時期：平成２２年度から】

#### エ．育児休業等に伴う任期付採用及び臨時的任用制度等の活用

部署内の人員配置等によって、育児休業中の職員の業務を遂行することが困難なときは、任期付採用及び臨時的任用制度の活用による適切な代替要員の確保を図る。

【実施時期：平成２２年度から】

育児短時間勤務の申出があった場合、任期付短時間勤務職員の任用を検討する一方、普段より副務者の役割を徹底し、二人で同じ職務にあたる並立任用制度の活用を図る。

【実施時期：平成２２年度から】

以上のような取り組みを通じて、育児休業等の取得率を男性３％、女性１００％とする。

【目標達成年度：平成２６年度】

#### (4) 時間外勤務の縮減

##### ア．制度の周知の徹底

小学校就学の始期に達するまでの子どものいる職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限をする制度について周知徹底を図る。

【実施時期：平成２２年度から】

##### イ．一斉定時退庁日等の実施

定時退庁日（毎週火・金曜日）には、管理職員が率先して定時退庁するとともに、他の職員が退庁しやすい環境づくりに努める。

【実施時期：平成２２年度から】

定時退庁ができない職員が多い部署を人事担当課が把握し、管理職員への指導の徹底を図る。

【実施時期：平成２２年度から】

##### ウ．事務の簡素合理化の推進

新たに行事等を計画する場合は、目的・効果・必要性等について十

分検討のうえ実施し、併せて、既存の行事等との関係を整理し、代替的に廃止できるものは廃止する。

【実施時期：平成22年度から】

会議・打合せについては、極力、電子メール・掲示板を活用する。

【実施時期：平成22年度から】

定例・恒常的業務に係る事務処理マニュアル化を図る。

【実施時期：平成22年度から】

#### エ．時間外勤務縮減のための意識啓発等

管理職員は、他の職員の勤務状況を的確に把握し、勤務時間管理の徹底（人事院指針 年間360時間を超えないように努める。）を図る。

【実施時期：平成22年度から】

人事担当課は時間外勤務の状況を定期的に把握し、時間外勤務の多い職員の健康管理を行うとともに、管理職員からヒアリング等を実施し、縮減のための意識啓発を行う。

【実施時期：平成22年度から】

#### (5) 休暇取得の促進

##### ア．年次休暇の取得の促進

計画的な年次休暇の取得促進を図るため、職員は取得目標を設定した計画表を作成し、管理職員に提出する。

【実施時期：平成22年度から】

管理職員は定期的に部署内職員の年次休暇の取得状況を把握し、また取得しやすい環境づくりに努める。

【実施時期：平成22年度から】

##### イ．連続休暇等の取得の促進

子どもの予防接種・健診の実施時期や授業参観日における年次休暇の取得促進を図る。

【実施時期：平成22年度から】

国民の祝日や夏期休暇とあわせた年次休暇の取得促進を図る。

【実施時期：平成22年度から】

ウ 子どもの看護を行う等のための特別休暇の取得の促進

子どもの看護休暇の特別休暇を周知するとともに、その取得を希望する職員に対して、100%取得できる雰囲気醸成を図る。

【実施時期：平成22年度から】

(6) 職場優先の環境や固定的な性別役割分担意識等の是正のための取組  
セクシャルハラスメント防止のための意識啓発を図る。

【実施時期：平成22年度から】

以上のような取り組みを通じて、職員一人当たりの年次休暇取得率 対前年比10%増加を目指す。

【実施時期：平成22年度から】

2. その他の次世代育成支援対策に関するもの

(1) 子育てバリアフリー

子どもを連れた人が気兼ねなく来庁できるよう、親切的な応接対応等のソフト面でのバリアフリーの取組を推進する。

【実施時期：平成22年度から】

(2) 子ども・子育てに関する地域貢献活動

ア. 子ども・子育ての体験活動の支援

子どもが参加する地域の活動に敷地や施設を提供する。

【実施時期：平成22年度から】

子どもが参加する学習会等の行事に、職員の積極的な参加を支援する。

【実施時期：平成22年度から】

イ. 子どもを交通事故から守る活動の実施や支援

交通事故予防について、綱紀粛正通知による呼びかけを実施する。

【実施時期：平成22年度から】

公用車の運転手に対し、交通安全講習会の実施や専門機関等による安全運転に関する研修の受講を支援する。

【実施時期：平成22年度から】

ウ. 安全で安心して子どもを育てられる環境の整備

子どもを安全な環境で安心して育てることができるよう、地域住民等の自主的な防犯活動や少年非行防止、立ち直り支援の活動等への職員の積極的な参加を支援する。

【実施時期：平成22年度から】

(3) 子どもとふれあう機会の充実

小中学校等による職場見学学習や見学を個別に希望する子ども等には、積極的に対応する。

【実施時期：平成22年度から】

レクリエーション活動の実施にあたっては、当該職員のみだけではなく、子どもを含めた家族全員が参加できるように配慮する。

【実施時期：平成22年度から】